

2026年6月期 第3四半期 決算説明会資料

キュービーネットホールディングス
株式会社



第3四半期累計振り返り	—————	P3~
国内事業	—————	P6~
海外事業	—————	P11~
通期店舗数見込み	—————	P16
Appendix	—————	P17~



第3四半期振り返り



第3四半期累計振り返り

国内 事業	売上収益	<ul style="list-style-type: none"> ■ 店舗数増加、既存店の成長により売上収益は前期比105.6% ■ 来店客数は順調に伸長し、第3四半期は前期比で104.2%、今期累計でも104.2%
	原価・販管費	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人財数・店舗数の増加に伴い、人件費(売上原価)・家賃・減価償却費等が前期比で688百万円増加 ■ 育成人財数増加に伴い、人件費(販管費)が前期比で123百万円増加
	人財状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 採用は、育成人財:前期比27人増加、経験者:前期比20人増加とともに前期を上回る水準で推移 ■ 即戦力となる経験者採用が好調に推移し、店舗配属人財の増加に寄与 ■ 退職率は第3四半期時点で7.0%の低水準を維持
	出退店状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新規出店は26店舗、閉店は9店舗となり前期比で17店舗増加。閉店9店舗の内6店舗を移転オープン済 ■ 通期の純増店舗数は、計画通り27店舗の見込み
海外 事業	売上収益	<ul style="list-style-type: none"> ■ 店舗数増加、価格改定による客単価の向上により前期比111.5%と伸長 ■ 既存国は台湾の成長、シンガポールの業態変更による復調、香港・米国の価格改定等による客単価の向上が寄与 ■ 新規国(カナダ、ベトナム、マレーシア)の店舗数も順調に増加
	出退店状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新規出店は15店舗、閉店は2店舗となり前期比で13店舗増加 ■ 店舗純増数の内訳は、香港3店舗、台湾3店舗、ベトナム3店舗、カナダ2店舗、米国1店舗、マレーシア1店舗
	価格改定の状況と新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2025年1月:香港 価格改定を実施(70HKD→80HKD、14.3%増) ■ 2025年1月:米国 価格改定を実施(30USD→35USD、16.7%増) ■ 2026年1月:台湾 価格改定を実施(350元→400元、14.3%増) ■ シンガポールでスタートしたフェードカットメニューの導入を香港で検討

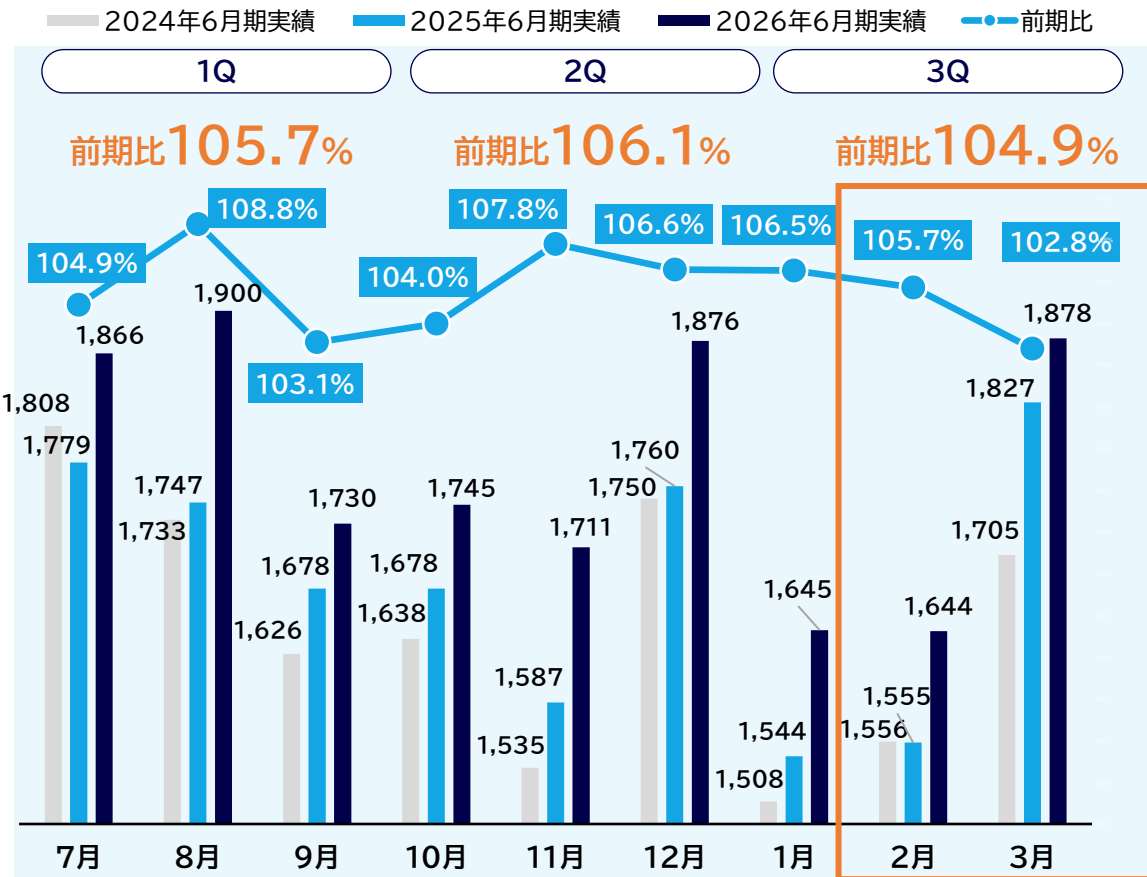
- 国内事業は、売上収益が順調に伸長。採用も好調に推移し、育成人件費が増加したものの増収、増益
- 海外事業は、円安影響もあり売上収益が2桁増となったものの、新規国の先行投資により増収、減益

(百万円)	2025年6月期	2026年6月期			
	3Q累計実績	3Q累計実績	前期比	通期予想	進捗率
売上収益	18,768	20,027	106.7%	27,350	73.2%
国内	15,156	16,001	105.6%	22,010	72.7%
海外	3,618	4,036	111.5%	5,350	75.4%
調整	△6	△10	—	△10	—
営業利益	1,051	1,060	100.9%	2,200	48.2%
国内	962	996	103.5%	1,960	50.8%
海外	88	64	72.0%	240	26.7%
調整	△0	△0	—	—	—
当期利益	608	584	96.0%	1,400	41.7%
基本的1株当たり当期利益	46円33銭	43円97銭	—	105円26銭	—
1株当たり配当額	—	—	—	40円00銭	—

- 売上収益は、価格改定影響のなくなった2月以降も順調に推移し、3Qの前期比は104.9%
- 来店客数は、店舗数の増加、既存店成長により3Qの前期比は104.2%と伸長

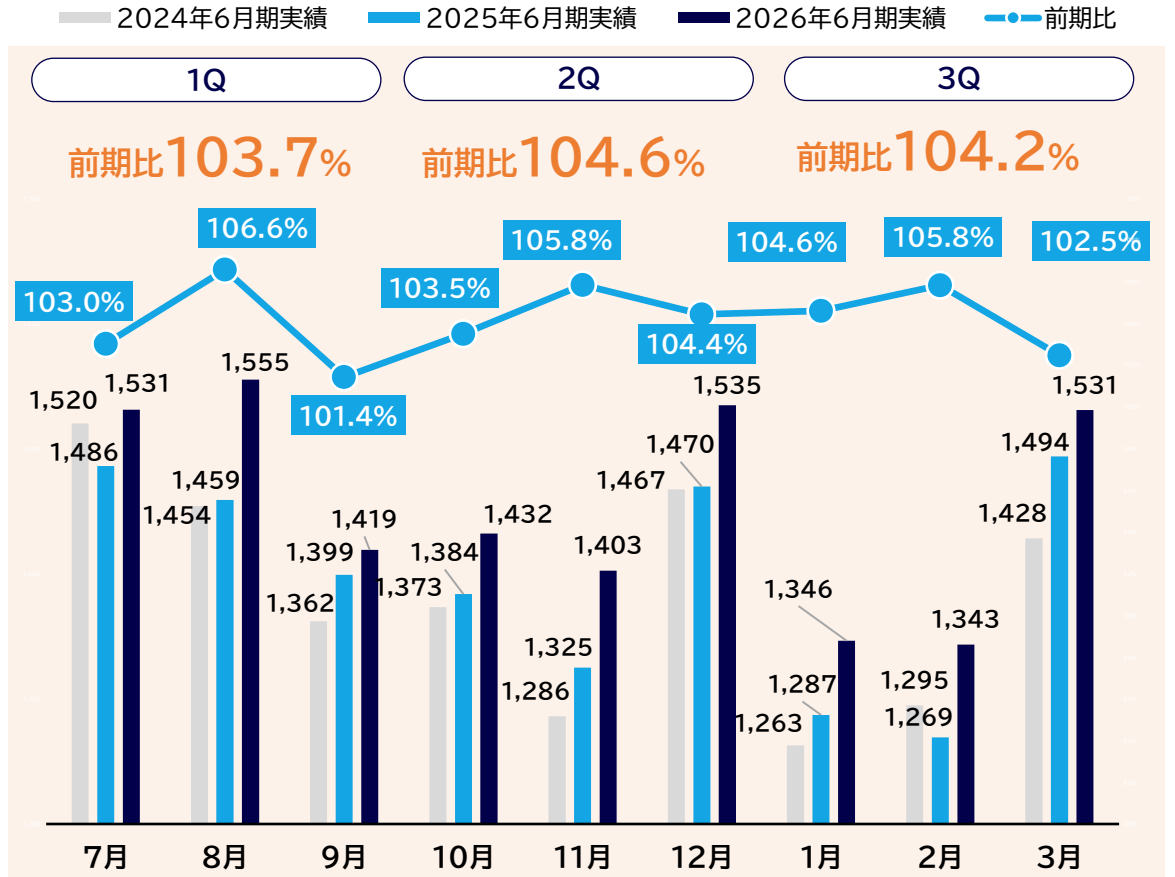
売上収益 実績推移

(百万円)



来店客数 実績推移

(千人)

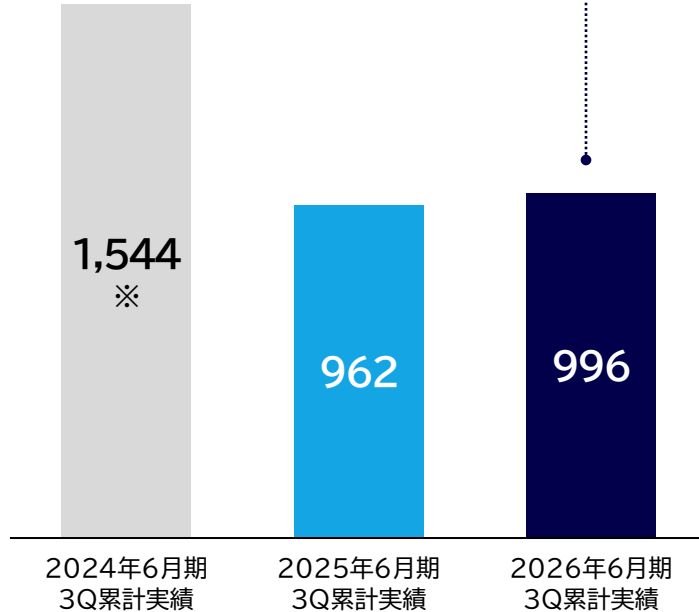


- 売上収益は、店舗数の増加や既存店成長が寄与し845百万円の増収
- 営業利益は、店舗数増加に伴う店舗経費増加に加え、採用数の増加に伴う育成人財の人件費が増加し、34百万円の増益

国内営業利益(第3四半期累計)

(百万円)

※2024年6月期は、過去最大の価格改定の影響があった一方、待遇改善は未実施期間があったため、営業利益が一時的に大幅な増加となった



前期比の差異要因(+34百万円)

営業利益増加要因	営業利益減少要因
<p>1 (売上収益の増加) 前期比:105.6% 845百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存店の成長: 407百万円 前期比 102.7% ・店舗の増加: 438百万円 前期比 102.9% <p>店舗数は前期比 30店舗増加</p>	<p>1 (店舗経費の増加) △688百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存店経費 人件費(昇給等) : △114百万円 新店経費 人件費(人員増加) : △338百万円 原価・販管(店舗増加) : △236百万円
	<p>2 (育成人財人件費※) △123百万円</p> <p>研修中人財数の増加による人件費増加(販管費) ※育成人財採用スタイリストの研修期間人件費</p>
+845百万円	△811百万円

- 第3四半期の新規出店は、QB HOUSE 8店舗、QB PREMIUM 2店舗、FaSS 1店舗と11店舗の出店

QB HOUSE

➤ 3Q新規出店：8店舗

SC・商業施設

- ・名駅サンロード店
- ・FLAT小平店
- ・ゆめタウン行橋店
- ・そよらリーフシティ市川店
- ・イオンタウン東浦和店
- ・ゆめモール那珂川店

駅・駅ビル

- ・東武池袋駅店
- ・ビーンズ登戸店



QB PREMIUM HAIRCUT & STYLE

➤ 3Q新規出店：2店舗

QB PREMIUMイオンモール津田沼south店

QB PREMIUM川崎アゼリア店

QB PREMIUM イオンモール津田沼south店



FaSS

➤ 3Q新規出店：1店舗

FaSSアトレヴィ巣鴨店

FaSSアトレヴィ巣鴨店



- 前期後半から採用は好調を継続し、前期比・計画比ともに上回る水準で推移。育成人財の配属増加により店舗配属人財数は前期比+86人と大幅に増加

用語説明

- 【店舗配属人財】当該期間に店舗へ配属されたすべての人財
- 【育成人財配属】研修が終了し店舗へ仮配属された人財
- 【経験者配属】即戦力として短期間の研修を終了し店舗へ配属された人財

第3四半期累計実績

第1四半期実績

	実績	前期比	計画比
店舗配属人財	73人	+23人	+24人
育成人財配属	28人	+7人	+11人
経験者配属	45人	+16人	+13人

第2四半期実績

	実績	前期比	計画比
店舗配属人財	85人	+38人	△8人
育成人財配属	57人	+36人	△12人
経験者配属	28人	+2人	+4人

第3四半期実績

	実績	前期比	計画比
店舗配属人財	77人	+25人	+14人
育成人財配属	42人	+23人	+6人
経験者配属	35人	+2人	+8人

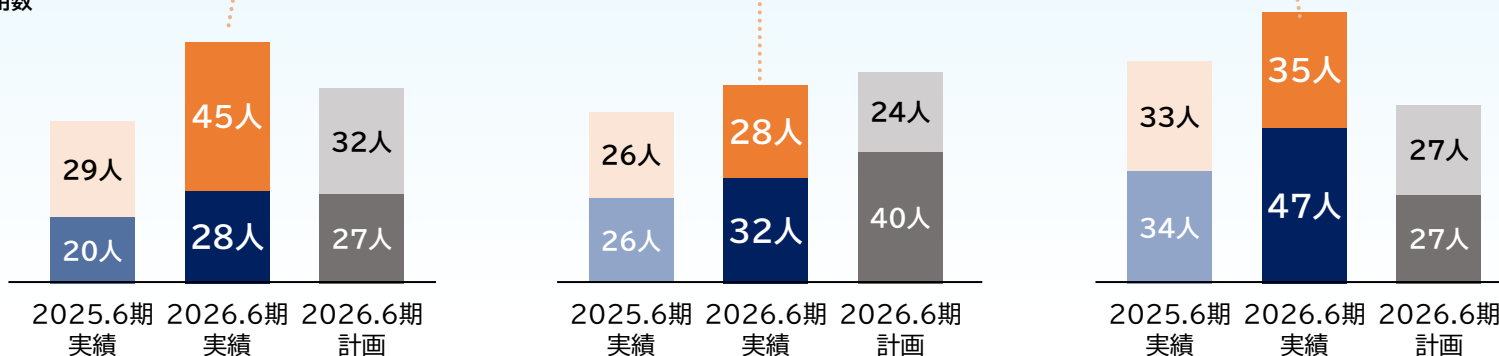
累計実績

	実績	前期比	計画比
店舗配属人財	235人	+86人	+30人
育成人財配属	127人	+66人	+5人
経験者配属	108人	+20人	+25人

配属

採用

- 上段人数：経験者採用数
- 下段人数：育成人財採用数



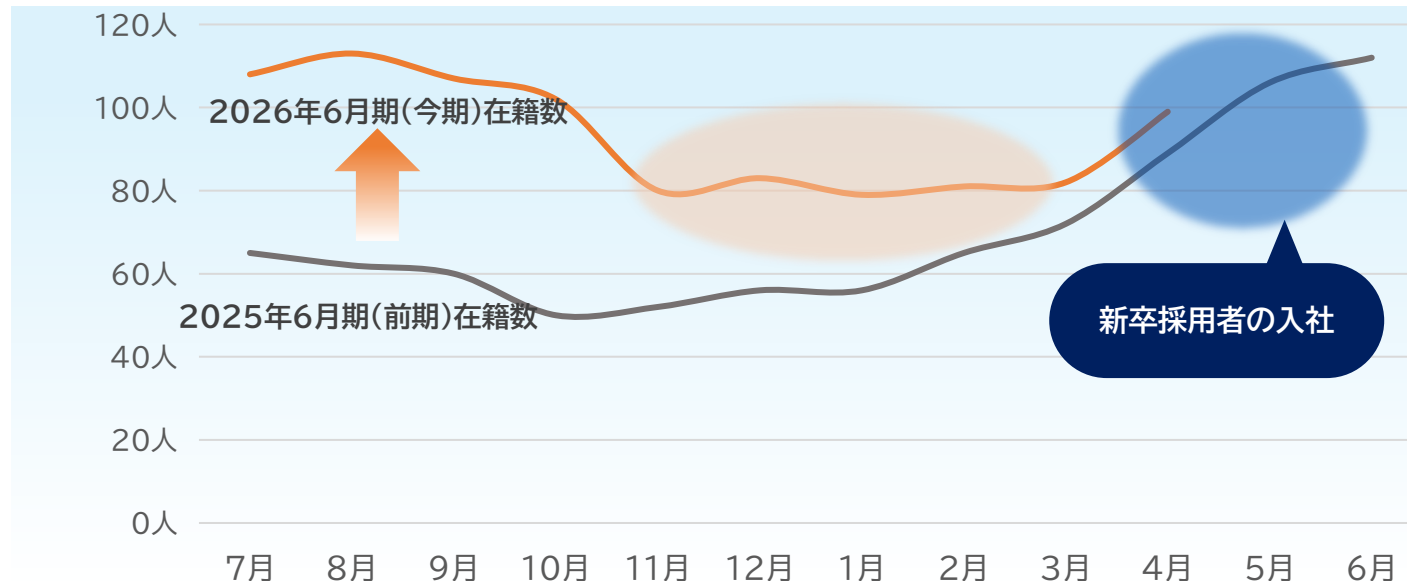
採用実績 前期比 計画比

経験者採用	108人	+20人	+25人
育成人財採用	107人	+27人	+13人

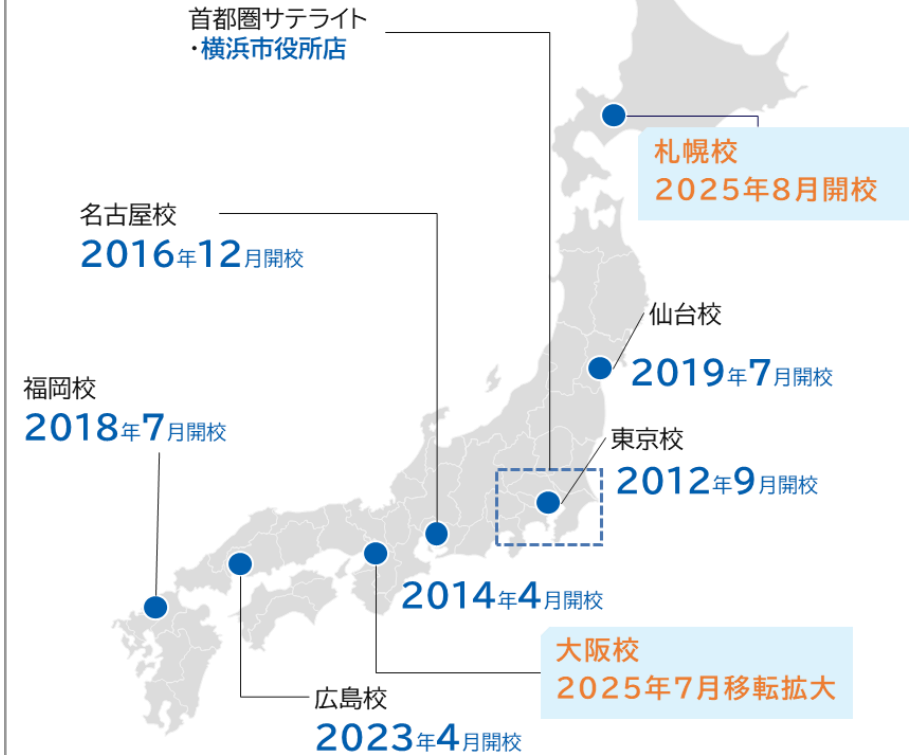
- 育成拠点の拡充とリクルート活動の強化により、育成人材の採用が好調であった前期を上回る実績で推移
- 店舗配属により育成人材の在籍数が減少したものの、第4四半期以降新卒採用者の入社により在籍数は高水準を維持

■ 月間育成人数推移と店舗配属人数

	第1四半期 店舗配属人数	第2四半期 店舗配属人数	第3四半期 店舗配属人数	第4四半期 店舗配属人数
26年6月期 (今期)	28人	57人	42人	-
25年6月期 (前期)	21人	21人	19人	16人



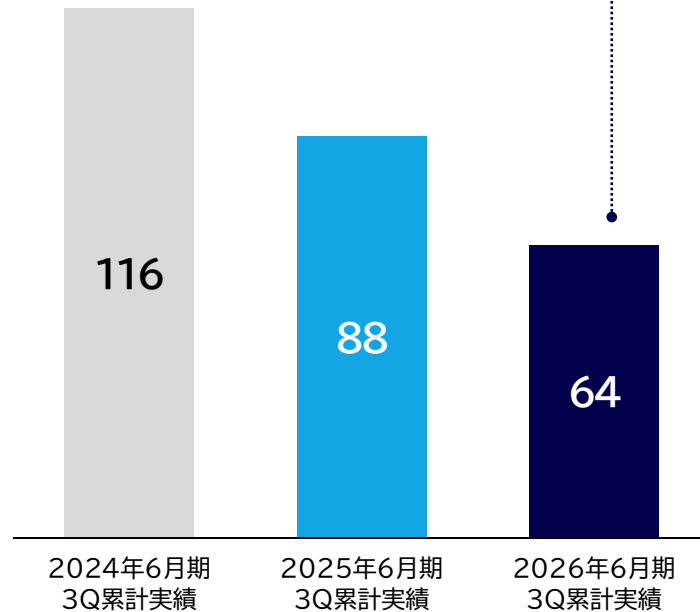
新設:札幌校
移転増床:大阪校




- シンガポールの収益改善に加え、香港・米国(2025年1月)、台湾(2026年1月)で価格改定を実施し利益増加に貢献
- カナダ・ベトナム・マレーシアは投資継続、香港は価格改定から1年が経過し、今後既存店の来店客数回復に注力

海外営業利益(第3四半期累計)

(百万円)



前期比の差異要因(▲24百万円)	
営業利益増加要因	営業利益減少要因
<p>1 (シンガポールの損益改善)</p> <p> : 31百万円 (シンガポール)</p>	<p>1 (新規進出地域の先行投資増)</p> <p>   : △44百万円 (カナダ) (ベトナム) (マレーシア)</p>
<p>2 (価格改定・店舗増加等による増益)</p> <p> : 6百万円(上期まで) (香港) 価格改定2025年1月実施</p> <p> : 4百万円 (米国) 価格改定2025年1月実施</p> <p> : 24百万円 (台湾) 価格改定2026年1月実施</p>	<p>2 (香港の減益要因)</p> <p> 第3四半期の売上収益減 (香港) : △48百万円</p> <p>※今期第3四半期の売上収益は、価格改定後の比較となるが、既存店での客数が回復しておらず、売上収益減となった (P13参照)</p>
<p>3 (為替変動の影響) +3百万円</p>	
+68百万円	△92百万円

- シンガポールはQB PREMIUMへの業態転換やフェードカットメニューの導入により平均単価が上昇し増収
- 台湾は、2026年1月より350元から400元へ14.3%アップの価格改定を実施し、成長を加速

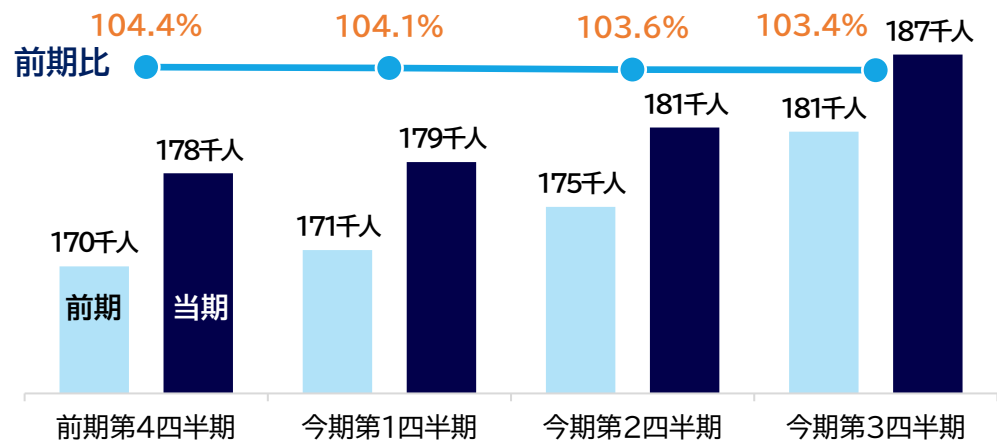
シンガポール

	25/6期3Q累計	26/6期3Q累計	前期比
売上収益	843百万円	941百万円	111.6%
3月末店舗数	29店舗	30店舗	1店舗増

売上収益 前期比(現地通貨ベース)

104.5%	107.0%	105.3%	104.9%
--------	--------	--------	--------

来店客数 前期比



台湾

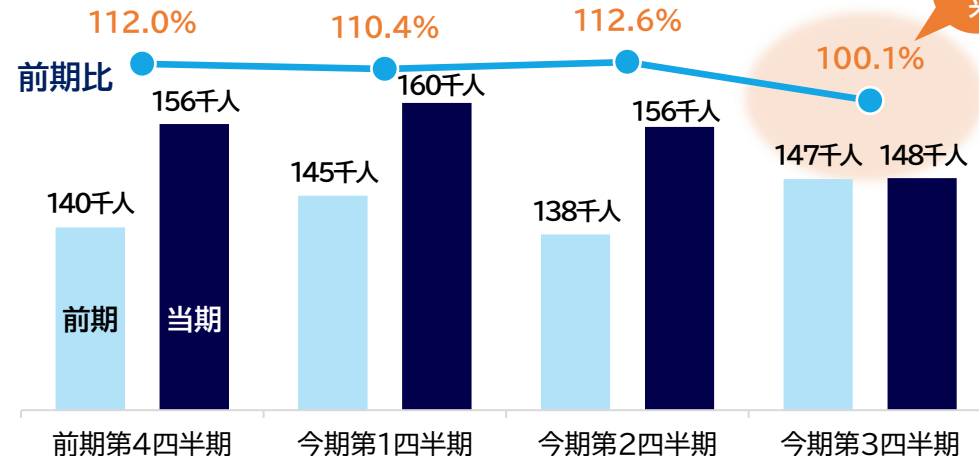
	25/6期3Q累計	26/6期3Q累計	前期比
売上収益	662百万円	795百万円	120.1%
3月末店舗数	37店舗	41店舗	4店舗増

売上収益 前期比(現地通貨ベース)

111.9%	110.5%	110.0%	113.6%
--------	--------	--------	--------

14.3%価格改定

来店客数 前期比



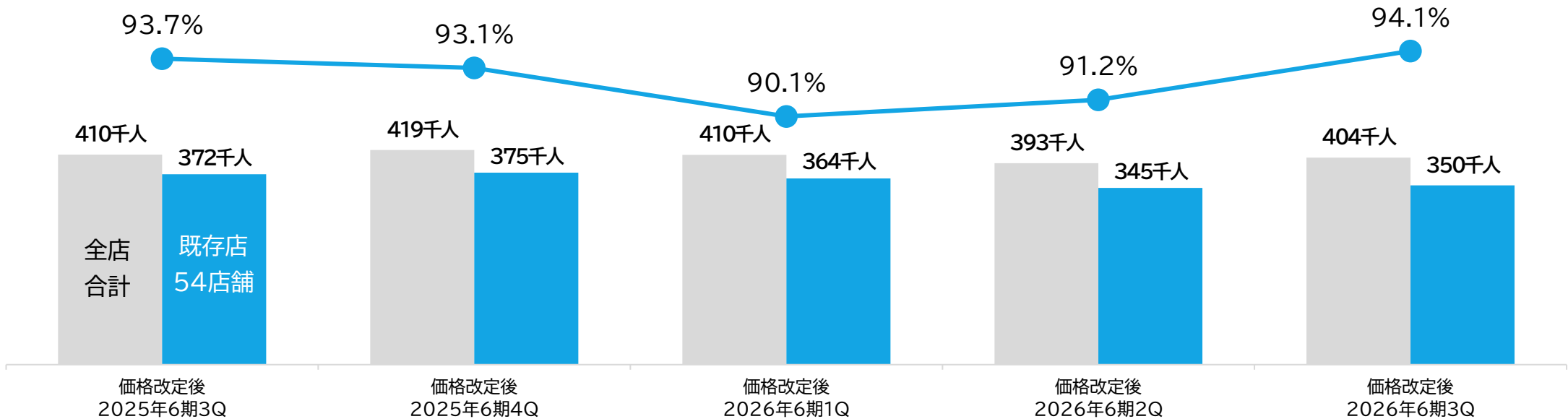
- 価格改定効果や新規出店により、売上収益は前期比104.2%と伸長
- 来店客数は回復傾向であるものの、競合環境が厳しい一部店舗では、価格改定効果が得られていない状況である為、今後さらに集客施策を強化し、回復に努める

	25/6期3Q累計	26/6期3Q累計	前期比
売上収益	1,800百万円	1,877百万円	104.2%
3月末店舗数	60店舗	65店舗	5店舗増

価格改定後の全店売上収益の前期比(現地通貨ベース)

価格改定影響あり(単価上昇)				価格改定影響なし
103.3%	105.1%	105.7%	106.2%	98.7%

既存店54店舗の来店客数前期比



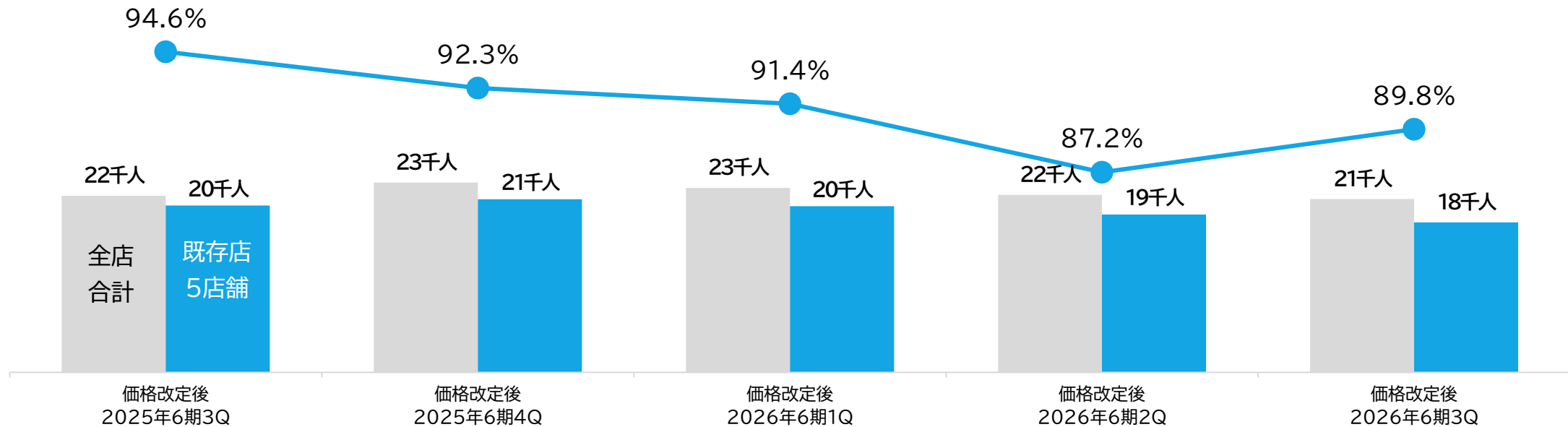
- 価格改定効果や新規出店により、売上収益は前期比111.0%と伸長
- 今期第3四半期は寒波による休業や新規出店による既存店の稼働低下等もあり来店客数が減少
採用及び販促施策の強化により来店客数の回復に注力

	25/6期3Q累計	26/6期3Q累計	前期比
売上収益	301百万円	334百万円	111.0%
3月末店舗数	6店舗	7店舗	1店舗増

価格改定後の全店売上収益の前期比(現地通貨ベース)

価格改定影響あり(単価上昇)				価格改定影響なし
114.3%	115.2%	116.5%	112.3%	99.5%

既存店5店舗の来店客数前期比



■ カナダ・ベトナム・マレーシアは、ほぼ計画通りに店舗網を拡大

- カナダ : 2026年2月に3号店(クィーン ストリート店)を出店、4号店は来期へ
- ベトナム : 2026年1月に3号店(ティソ モール サラ店)、2026年2月に4号店(イオンビントアン店)を出店
- マレーシア: 2026年5月に3号店・4号店を出店予定

■ カナダ: トロントでのドミナント出店

- ・ 3号店はトロントのトレンドの発信地である活気あるエリアに出店

	今期計画	期末見込み
店舗数	4店舗	3店舗



■ ベトナム: ホーチミンでのドミナント出店

- ・ 3号店・4号店は現地系モールとイオンへ計画より前倒しで出店

	今期計画	期末見込み
店舗数	4店舗	4店舗



■ マレーシア: ジョホールバルと首都クアラルンプール

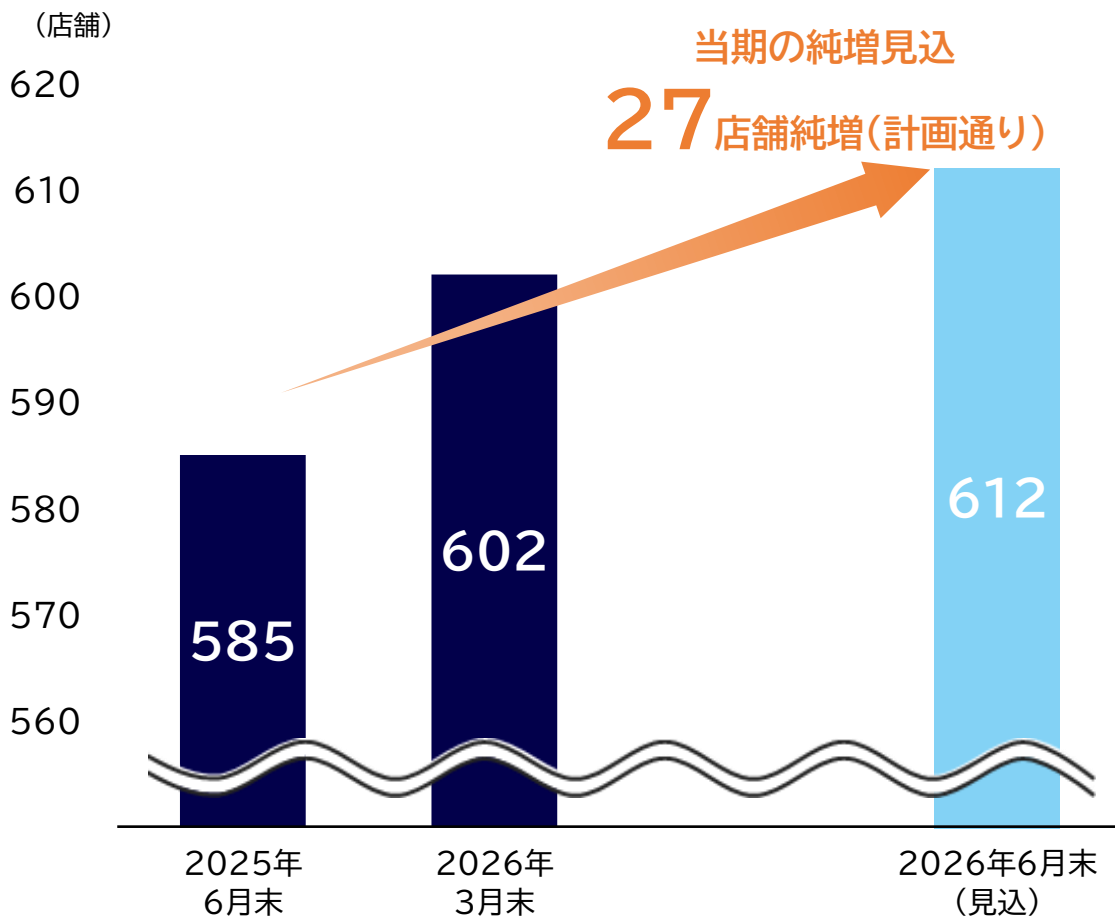
- ・ 3号店・4号店は2026年5月に開店予定

	今期計画	期末見込み
店舗数	4店舗	4店舗

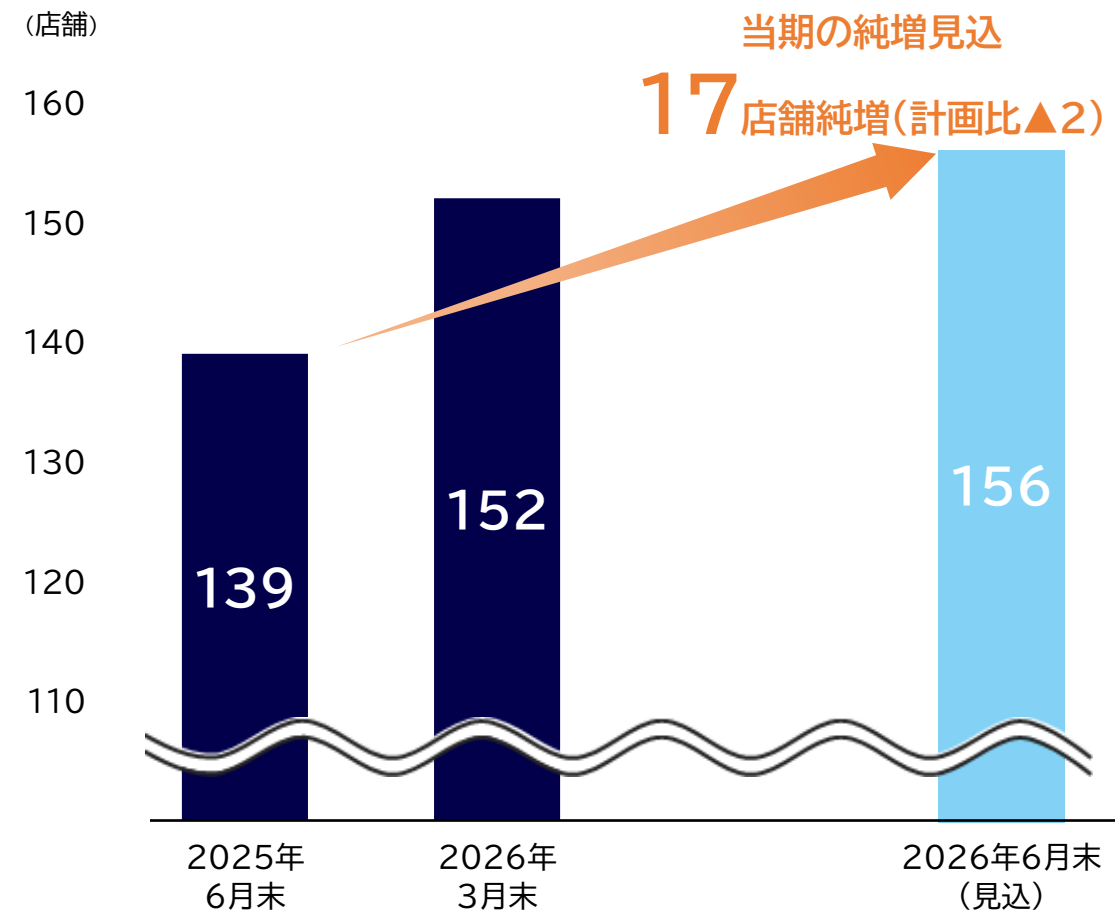


- 国内の出店は、計画通り年間27店舗純増の見込み
- 海外の出店はほぼ計画通りに進捗し、年間17店舗の純増見込み

国内事業 2026年6月期店舗数実績・見込



海外事業 2026年6月期店舗数実績・見込

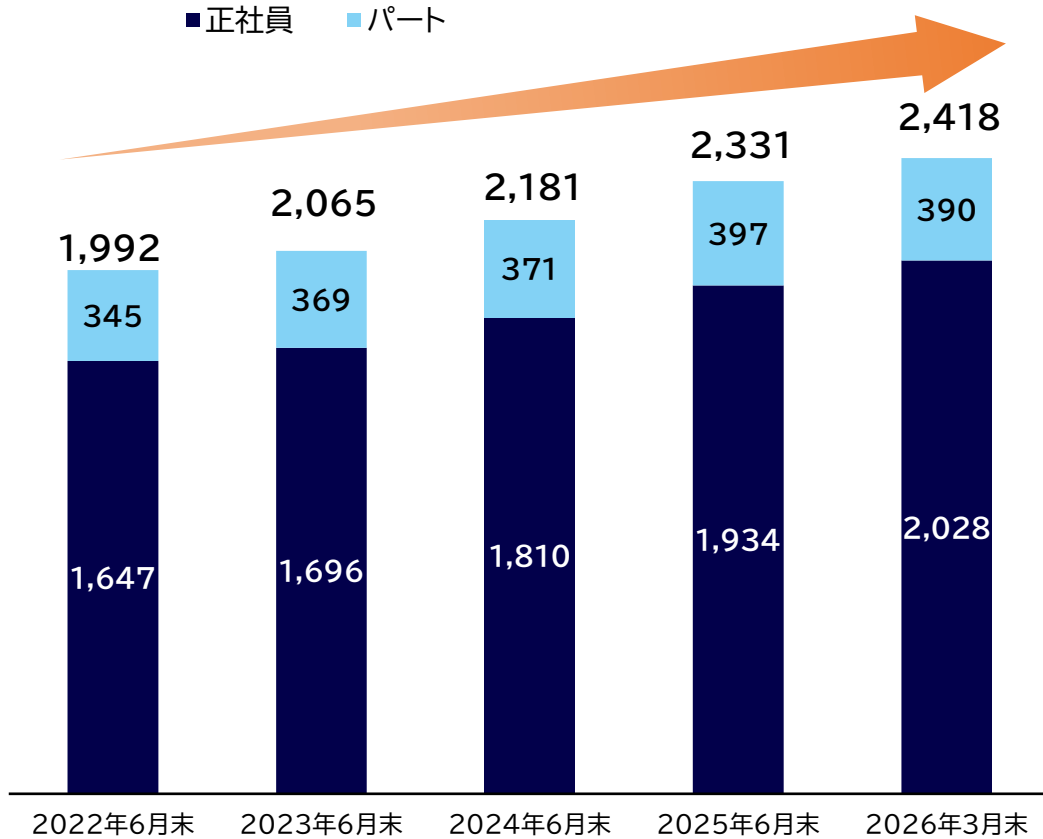


Appendix



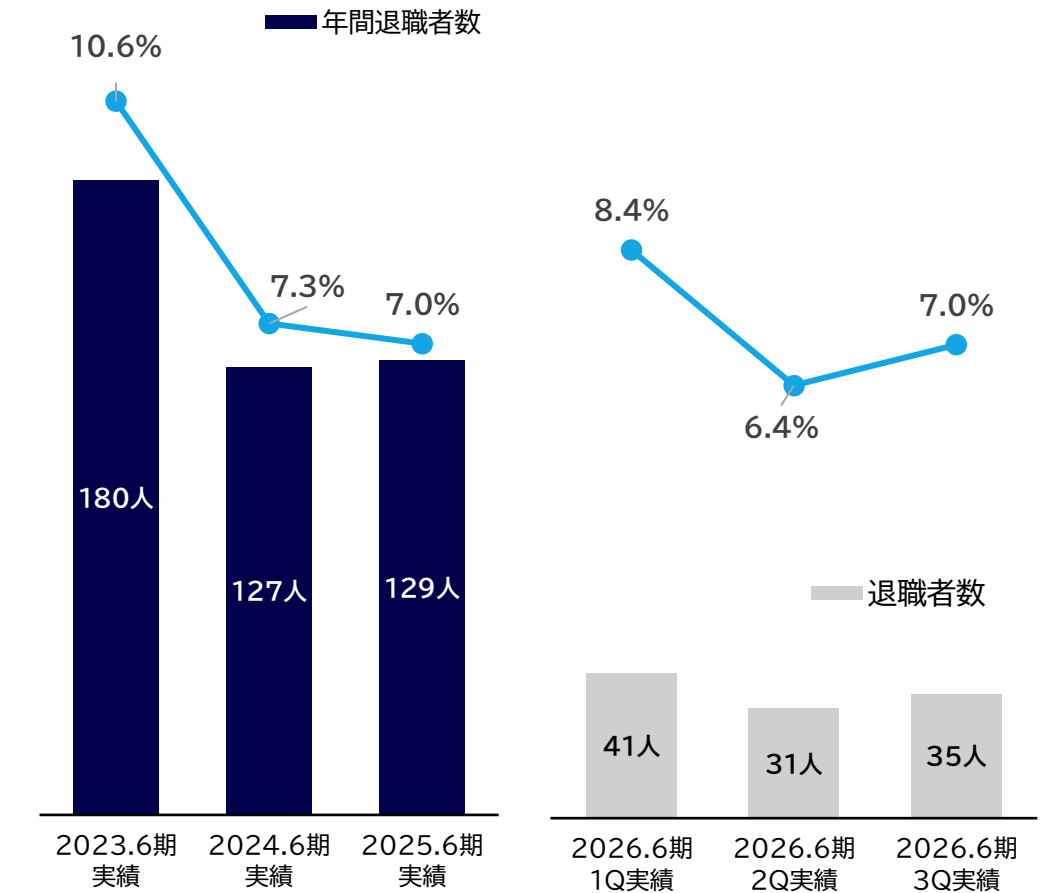
従業員数の推移

(単位:人)



※本社は除く、研修施設含む
 ※正社員→パート、パート→正社員への変更を含む
 ※業務委託先からの移籍に伴う入社を含む

退職率(正社員)



※四半期は年率換算

2026年6月期第3四半期累計 出店実績

	業態	25/6期末	新店	移転	閉店	増減	26/3月末
日本	QB HOUSE	566	14	6	△9	11	577
	QB PREMIUM	8	4			4	12
	FaSS	11	2			2	13
国内小計		585	20	6	△9	17	602
シンガポール	QB HOUSE	19			△1	△1	18
	QB PREMIUM	10	1			1	11
	QB HOUSE Kids	1				0	1
香港	QB HOUSE	62	3			3	65
台湾	QB HOUSE	38	3	1	△1	3	41
アメリカ	QB HOUSE	6	1			1	7
カナダ	QB HOUSE	1	2			2	3
ベトナム	QB HOUSE	1	3			3	4
マレーシア	QB HOUSE	1	1			1	2
海外小計		139	14	1	△2	13	152
連結グループ合計		724	34	7	△11	30	754

連結損益計算書

(百万円)	2025年6月期3Q累計		2026年6月期3Q累計			
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	前期比
売上収益	18,769		20,027		1,258	106.7%
売上原価	△14,749		△15,743		△994	106.7%
売上総利益	4,020	21.4%	4,283	21.4%	264	106.6%
その他の営業収益	11		13		△2	
販売費及び一般管理費	△2,972		△3,217		△245	108.3%
その他の営業費用	△7		△19		△12	
営業利益	1,051	5.6%	1,060	5.3%	9	100.9%
金融収益	17		21		4	128.8%
金融費用	△166		△196		△30	118.3%
税引前利益	902	4.8%	886	4.4%	△16	98.2%
法人所得税費用	△294		△302		△7	102.7%
当期利益	608	3.2%	584	2.9%	△24	96.0%

連結財政状態計算書

(百万円)	2025年6月末	2026年3月末	増減額
流動資産合計	6,884	5,921	△963
現金及び現金同等物	5,271	4,185	△1,086
営業債権及びその他の債権	1,292	1,317	25
棚卸資産	121	106	△15
その他	198	311	113
非流動資産合計	27,327	29,114	1,787
有形固定資産	1,578	2,011	432
使用権資産	7,138	8,072	934
のれん	15,430	15,430	-
その他の金融資産	2,017	2,170	153
繰延税金資産	827	836	9
その他	335	592	257
資産合計	34,211	35,036	824
負債合計	19,528	19,866	337
営業債務及びその他の債務	437	421	△15
有利子負債	8,822	8,302	△519
リース負債	6,931	7,859	928
その他	3,336	3,281	△55
資本合計	14,683	15,169	486
負債及び資本合計	34,211	35,036	824

●— 新店および契約更新に伴う残家賃等増
 ●— のれんはIFRS(国際会計基準)のため未償却過去2回の株主変動に伴って生じたもの

●— 借入金約定返済
 ●— 新店および契約更新に伴う残家賃等増

(参考)2026年6月期 店舗計画

(店舗)	業態	25/6期末	新店	閉店	増減	26/6期末
日本	QB HOUSE QB PREMIUM	574	31	△7	24	598
	FaSS	11	3		3	14
国内小計		585	34	△7	27	612
シンガポール	QB HOUSE QB PREMIUM	30	1	△1	—	30
香港	QB HOUSE	62	4		4	66
台湾	QB HOUSE	38	6	△2	4	42
アメリカ	QB HOUSE	6	2		2	8
カナダ	QB HOUSE	1	3		3	4
ベトナム	QB HOUSE	1	3		3	4
マレーシア	QB HOUSE	1	3		3	4
海外小計		139	22	△3	19	158
連結グループ合計		724	56	△10	46	770

価格改定の過去実績

地域		価格改定(税込)の実績	
国内		<ul style="list-style-type: none"> ・2014年4月: QB HOUSE 1,000円 → 1,080円 ・2019年2月: QB HOUSE 1,200円 ・2023年4月: QB HOUSE 1,350円 QB PREMIUM 1,650円 → 1,800円 FaSS 2,200円 → 2,400円 ・2025年2月: QB HOUSE 1,400円 QB PREMIUM 2,000円 FaSS 2,600円(ニューマン高輪店のみ2,800円) 	
海外	シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年8月: QB PREMIUM SG\$15(約1,870円) → SG\$18(約2,240円) ・2022年10月: QB HOUSE SG\$12(約1,490円) → SG\$14(約1,740円) ・2023年9月: QB HOUSE 男性SG\$14(約1,740円)、女性SG\$18(約2,240円) QB PREMIUM 男性SG\$18(約2,240円)、女性SG\$22(約2,740円) フェードカットSG\$25(約3,120円) 	
	香港	<ul style="list-style-type: none"> ・2014年7月: HK\$50(約1,010円) → HK\$60(約1,210円) ・2019年7月: HK\$70(約1,420円) ・2025年1月: HK\$80(約1,620円) 	
	台湾	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年1月: 300元(約1,500円) → 350元(約1,750円) ・2026年1月: 400元(約2,000円) 	
	ニューヨーク	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年6月: \$20(約3,180円) → \$23(約3,650円) ・2020年11月: \$25(約3,970円) ・2023年1月: \$30(約4,770円) ・2025年1月: \$35(約5,560円) 	
	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> ・C\$39.55(約4,550円) 	
	ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> 2025年12月: 20,000ドン(約120円)値上げ ・(10歳以上)男性100,000ドン(約600円)、女性140,000ドン(約840円) ・(10歳未満)男性 80,000ドン(約480円)、女性110,000ドン(約660円) 	
	マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> 2026年1月: 3MYR(約120円)値上げ ・男性35MYR(約1,400円) 女性45MYR(約1,800円) 	

※為替レートは2026年4月10日時点

本プレゼンテーション資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、売買の勧誘を構成するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。



FaSS

